



かわ はこ 川はどろをどこまで運ぶの

かわ みず はこ 川の水の運ぶはたらき

かわ みず はこ
川の水のはたらきには、3つのはたらきがあります。かわぎし かわぞこ つち いわ
川岸や川底の土や岩をけずるはたら
き（しん 食 作用）、けずったものを下流へ運ぶはたらき（運ぱん作用）、運んできたもの
をかわぞこ つ
川底に積もらせるはたらき（たい積作用）があります。

かわ みず はこ
川の水がけずりとったどろ（ねん土や砂）は、川の水の運ぶはたらきによって、下流へと
はこ
運ばれていきます。

おおあめ ふ あと みず りょう おお
大雨が降った後などで、水の量が多いときには、ふだんよりも、たくさんのどろが運ば
れていきます。

うみ はこ 海まで運ばれてくる

かわ かりゅう みず
川の下流の水は、ふつう、にごっています。このにごりは、どろのためです。どろのつぶ
ちい
は小さくて、なかなかしずまないで、川の水がにごっているのです。

このどろは、うみ はこ
海まで運ばれていきます。しかし、運ばれてきたどろは、かいすい
海水にはうかびに
くいので、かいてい
海底にしずみます。

たいふう おおあめ かいてい
台風や大雨のときには、海底にたくさんのどろがたまって、ぬるぬるすることがあります
が、じかん
時間がたつにつれて、ぬるぬるがなくなります。かいすい
海水のはたらきによって、どろはもっ
おき
と沖のほうに運ばれていくのです。（監修・国司 真）

